

# 藤沢宿の歴史



藤沢宿は、江戸時代に整備された東海道の宿場「東海道五十三次」のひとつ。江戸時代初期の慶長6年（1601）、江戸幕府が東海道の駅制を定めた際に宿場町として整備され、起点である江戸日本橋から数えて6番目にあつた。慶長元年（1596）には、すでに徳川将軍家の宿泊施設である藤沢御殿が築かれていた。当時から旅人たちに人気の「大山詣で」、江の島弁財天詣で」の要所であり、東海道を西へ下り、途中、北西へ分かれる大山路、南へ下る江の島道、さらに鎌倉道や八王子道など多くの道が集結していた。

旧東海道沿いには宿場町の名残をとどめる風景がある



**名所が多い 藤沢宿周辺**  
宿場町には、歌舞伎などで演じられる「小栗判官・照手姫伝説」の旧跡もある遊行寺や、義経ゆかりの白旗神社の近くには「義経首塚及び首洗い井戸」があり、「一里歩けば江の島で弁財天参詣もできる。名所が集まる風光明媚な藤沢は、一流の絵師たちにより、浮世絵にも多く描かれた。

## 遊行寺 ●ゆきょうじ



宝物館や小栗伝説で知られる小栗堂（長生院）なども必見

毎年正月の箱根駅伝では選手たちが遊行寺前の坂道を走り抜ける

### みどころいっぱいの藤沢屈指の古刹

鎌倉時代に一遍上人が開いた時宗の総本山で、正中2年(1325)に呑海上人によって創建。藤沢市の歴史散策には外せない、マストスポット。

- ①藤沢市西富1-8-1 ②JR藤沢駅北口から徒歩15分
- ③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

☎0466-22-2063 MAP 付録オモテE4



現在の社殿は天保6年(1835)に建てられた

●しらはたじんじゃ

## 白旗神社



### 源義経を祀る緑と花々の社

古くは寒川神社とよばれ、寒川比古命を祀っている。鎌倉時代に源義経の首がこの地に葬られたと伝わり、義経も合祀されている。江戸時代から続く湯立神楽は、無病息災を祈る神事として有名で、市の重要無形民俗文化財。



長い房に花をつけた義経藤で知られる

- ①藤沢市藤沢2-4-7 ②小田急江ノ島線藤沢本町駅から徒歩7分
- ③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

☎0466-22-9210 MAP 付録オモテD4

藤沢宿の貴重な資料を展示するスポット/

### 藤沢市ふじさわ宿交流館

●ふじさわしふじさわしゅくこうりゅうかかん

東海道五十三次や藤沢宿に関する資料をわかりやすく展示。歴史に関する講座や寄席などのイベントを多数開催。①藤沢市西富1-3-3 ②JR藤沢駅北口から徒歩14分



- ③入館無料 ④9～18時 (10～3月は～17時) ⑤月曜(祝日の場合は翌日) ⑥なし

☎0466-55-2255 MAP 付録オモテE4

浮世絵や郷土資料から歴史を学ぶ/

### 藤沢市藤澤浮世絵館

●ふじさわしふじさわしゅくきよえかかん

藤沢宿や旅人の様子、江の島などを描いた浮世絵を見学できる。

- ①藤沢市辻堂神社2-2-2 ココテラス湘南7階 ②JR辻堂駅北口から徒歩5分
- ③入館無料 ④10～19時(最終入館は18時30分) ⑤月曜(祝日の場合は翌日) ⑥なし



☎0466-33-0111 MAP 付録オモテC4



重塔は明治時代の建立

●りゅうこうじ

## 龍口寺

### 明治時代に建立された五重塔は必見

日蓮宗の古刹で、日蓮聖人が奇跡的に処刑をまぬがれたことで知られる龍の口刑場跡に、延元2年(1337)、日法上人によって建立された。五重塔は「かながわの建築物100選」に選定されている。①藤沢市片瀬3-13-37 ②江ノ電江ノ島駅から徒歩3分

☎0466-25-7357 MAP 付録ウラ①C1



①重厚感を感じさせる本堂。春には山門脇や境内が美しい桜で彩られる

### 夏の風物詩もチェックしよう



### 2020年は龍口寺法難750年

令和2年9月12日、日蓮聖人四大法難の1つ、龍口法難750年のご正聖日をお迎えした。日蓮聖人は「この世こそ浄土にすべし」という信念のもと、御仏の使いとしてお題目布教に邁進された。

### 龍の口竹灯籠

●たつぐちたけどうろう

龍口寺の仁王門前から五重塔まで約5000基の竹灯籠が並び、境内がやさしいロウソクの灯りに包まれる。

- 期間 8月上旬の土・日曜
- 時間 18～21時※点灯時間
- 会場 龍口寺

MAP 付録ウラ①C1

①青竹の灯籠に揺れるロウソクの炎が幻想的なムード

